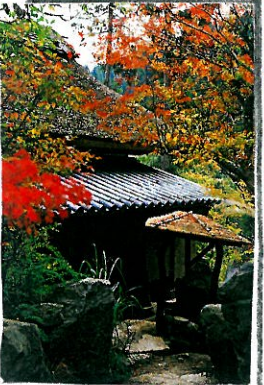


相生デイビス新聞

発行所
相生DS
44-4165



初霜に庭もぬかるむ
冷気が列島をつつんで霜が降り
ました。

朝日がさざんかの咲く小さな庭に

届き地面がぬ

かるんできま

した。

七日は立冬。

冬が始まります。

名歌

月見ればちぢにものこそ

かなしけれ

わが身ひとつの

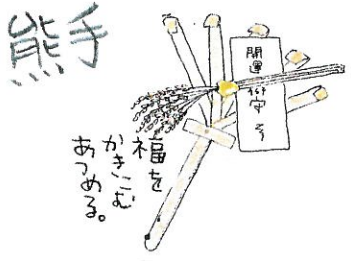
秋にはあらねど

大江千里



小諸からの浅間山

～歳時記～
浅草・西の市
(鷹神社)



開運・商売繁昌
6日 18日 30日

とちぎ発見

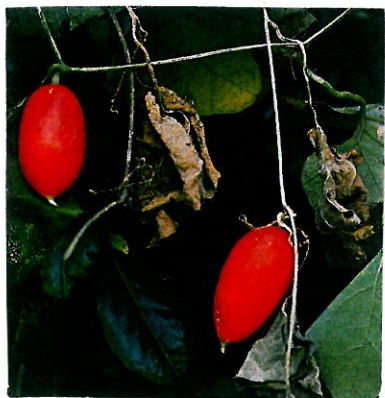
- ・宇都宮駅 像
- ・ 遊水地
- ・ 奥日光 湖
- ・ 平家の里 温泉
- ・ 銅山
- ・ 日塩 ライン
- ・ 焼



「いちよう」
干し大根

カラスウリ
赤くなりました

根 → 黄痘・利尿
汁 → 肌あれ・しめかけ



今月の予定

- 4 (土) 民謡とハーモニカ
 - 17 (金) 春さんと仲間たち
 - 21 (水) 小林音楽
 - 22 (水) よさこいホパイ
 - 23 (木) ハンド・ベル
 - 29 (木) つつじ華の会
- ※秋のドライブ
※おやつ作り

床屋さん
6月 15(水)
24(金)

ユーモアくらぶ

男は診察室に入った。

「先生、私はどうかして
るでしょうか、
この年になっても
まだ、女房を愛し
てるんです。」

「そ、それはうらやましい
すてきな奥様な
んでしような。」

数日後、街で出合った。
「こんにちは先生、
こ水が女房で」

「…明日もう
一度診察しま
しよう」

天声珍語

あふれる
御馳走だ。

こ水をつまみ
に飲むとは
なんとも贅沢
だ。
熱燗がじんわり
としみる。

深い味わいに
盃もすすむ。
奥利根の小さ
な宿。

質素な膳も
薄い蒲団も
相応の宿代で
は仕方ない。

もとより、
そんなことは
求めない。
目の前のこの
景色を見に
きたのだ。

こ水こそ
御馳走だ。
枝の葉も数え
るほどになつて
山里はすべて
雪を待った
けである。

スム